

# 令和7年度 第3回 世田谷区長定例記者会見

令和7年7月1日  
世田谷区

# マンション防災啓発冊子



マンションに居住する約20万世帯へマンション向けの防災対策をまとめた啓発冊子を配布

在宅避難について学べる啓発動画を配信中



# 公益信託世田谷まちづくりファンド 日本都市計画学会賞 石川賞を受賞

1992年からスタートした市民まちづくり活動を支援する  
しくみと実績が評価されました!

受賞者(4者合同): 世田谷まちづくりファンド運営委員会、(一財)世田谷トラストまちづくり  
三井住友信託銀行、世田谷区



公開審査会の様子  
～助成決定プロセスをオープンにした、誰でも観覧可能な学びあいの機会づくり



まちづくり交流会  
～資金以外の活動支援としてのつながりづくり

# 令和7年度自治体間連携フォーラム開催

開催日：令和7年6月26日、27日 会場：北海道白老町総合保健福祉センター

テーマ

多様な主体による  
持続可能な地域づくり

平成27年より開始し、今年で10回目の開催 ▼



6自治体等の事例紹介および意見交換を実施 ▶



視察先 ウポポイ（民族共生象徴空間） ▼ ▲



# 第46回せたがやふるさと区民まつい

日時：令和7年8月2日(土)、3日(日)

両日 午前11時～午後9時

会場：JRA馬事公苑、けやき広場

主催：せたがやふるさと区民まつい実行委員会

共催：世田谷区

**\*\*\* 来年の第47回開催は6月に変更します! \*\*\***

# KSO高雄市青少年交響樂團 SJOせたがやジュニアオーケストラ 交流コンサート

日時 令和7年7月29日(火)午後2時開演

会場 せたがやイーグレットホール (世田谷区民会館)



以前の交流コンサートの様子 (令和元年)

2025 7月  
29日(火) 14:00 開演  
せたがやイーグレットホール (世田谷区民会館)

7年ぶりに  
台湾高雄市から  
ジュニアオーケストラが  
やってくる!

TAIWAN

KSO  
高雄市青少年交響樂團  
SJO  
せたがやジュニアオーケストラ  
交流コンサート

出演 KSO高雄市青少年交響樂團  
(指揮) 鮑恒毅 (Pao Hang-Yi)  
せたがやジュニアオーケストラ  
(指揮) 佐々木新平  
KCO高雄市青少年交響樂團  
(高胡) 陳沂柔 (Chen Yi-Rou)  
(二胡) 阮心昇 (Ruan Shin-Yu)

曲目 李博祥「楚頌」、二重胡弓協奏曲  
シベリウス「カレリア組曲」ほか

抽選について  
入場無料(自由席)  
抽選申込受付: 5月27日(火)8:00~6月20日(金)21:00  
申込方法: 1申込4名まで

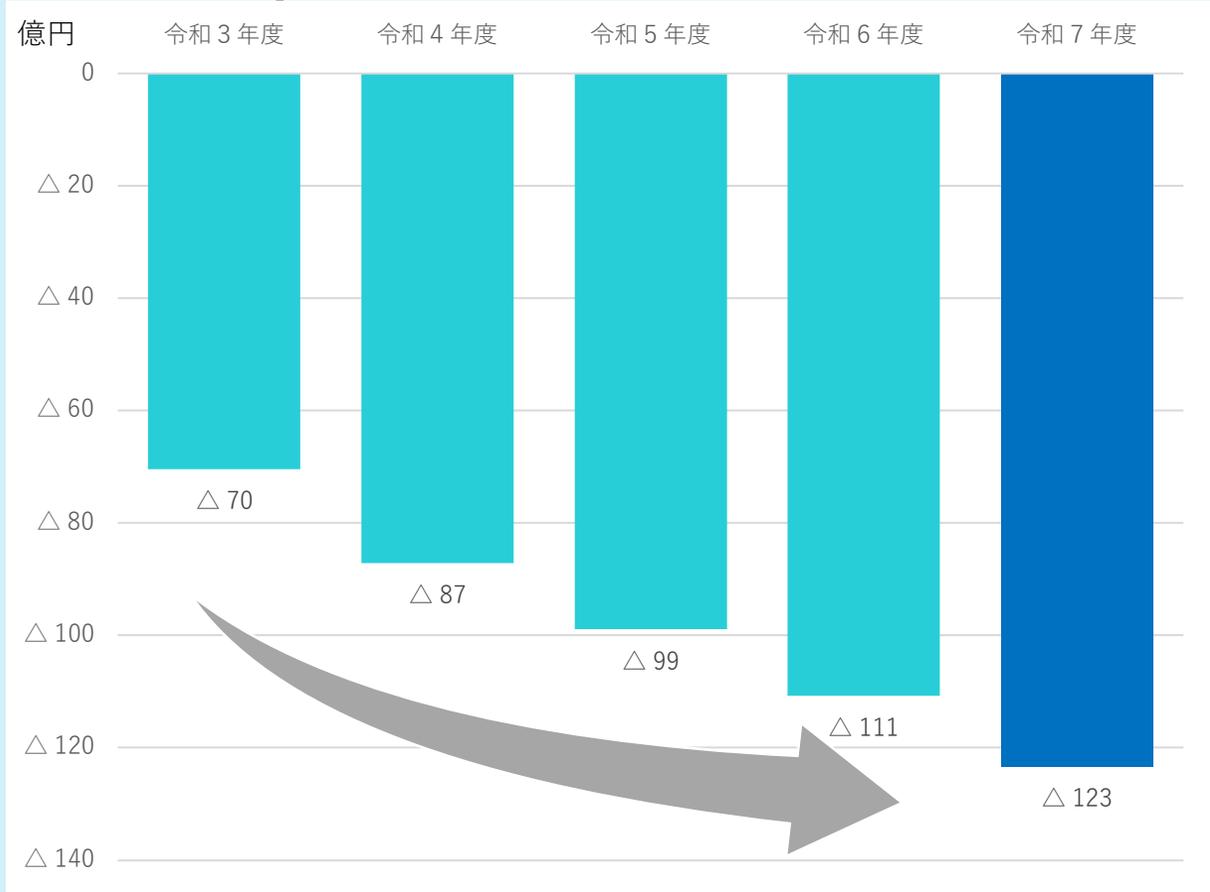
【主催・お問合せ】世田谷区生活文化政策部 文化・国際課  
tel.03-4304-3439  
【共催】(公財)せたがや文化財団 音楽事業部 世世ぼん  
(財)高雄市愛護文化芸術基金会  
【後援】世田谷区教育委員会  
【協力】駒形根理小学校

オンラインフォーム: <https://logofcm.jp/Form/JqMJ/1001844>  
電話: せたがやコール(9:30-21:00)  
tel.03-5432-3532 / fax.03-5432-3100  
抽選子ベースあり(抽選、付随抽選あり)  
※抽選結果は、抽選結果発表ページにて発表いたします。

# 世田谷区のふるさと納税

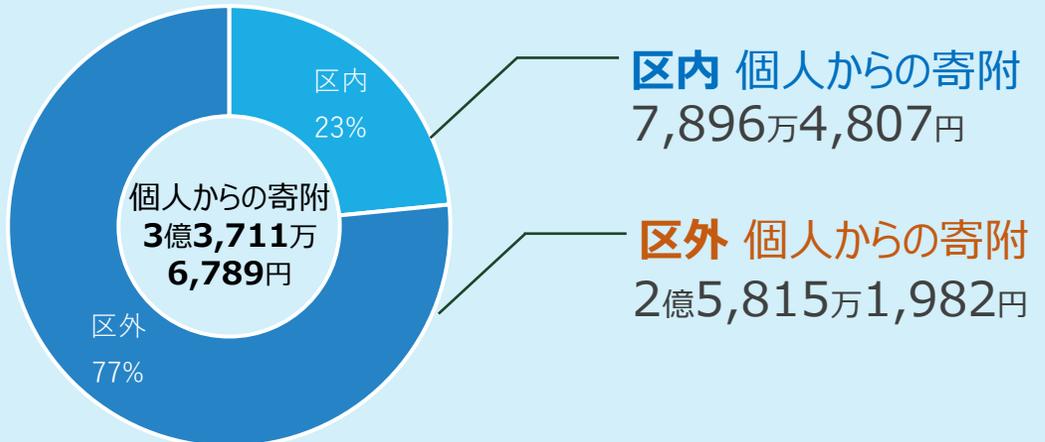
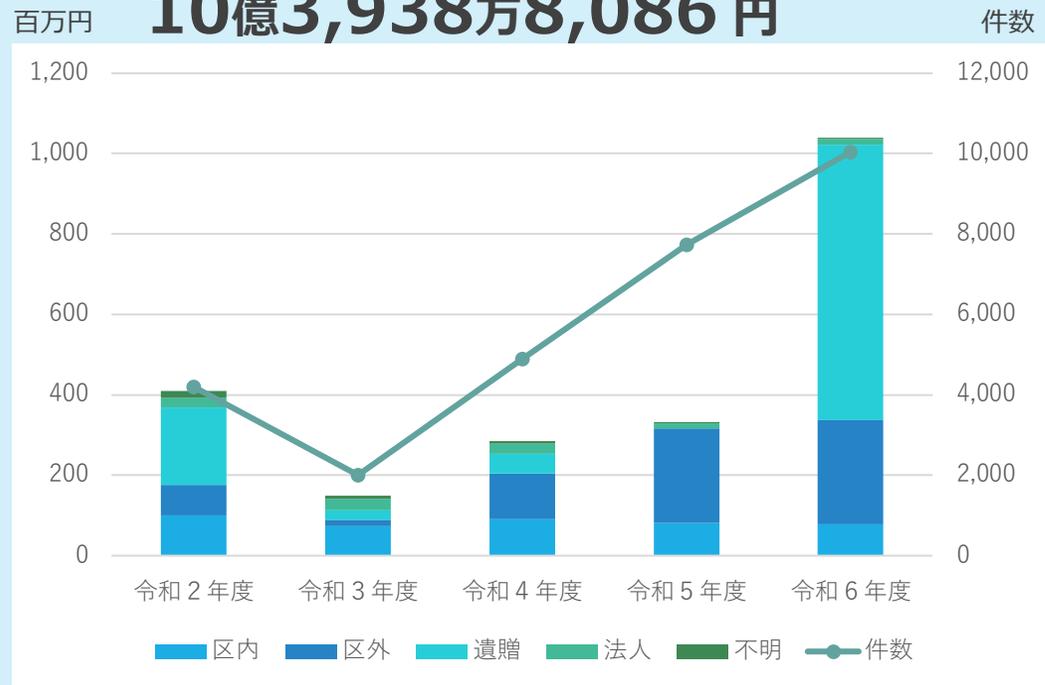
令和7年度 流出額

123億3,355万9千円 (速報値)



令和6年度 寄附実績

10億3,938万8,086円



# 新たなふるさと納税返礼品

東急電鉄株式会社協力のもと現地体験型返礼品を実施



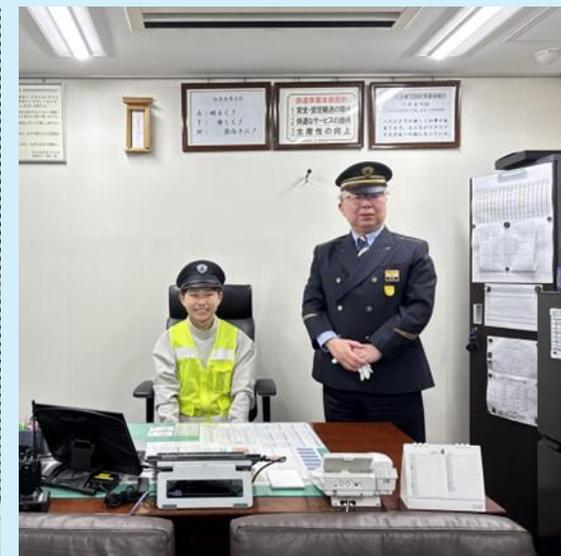
## 東急世田谷線上町車庫見学ツアー

実施日：令和7年7月20日（日）

寄附金額：109,000円

6組限定（小学3～6年生1名と保護者）

乗務点呼、車両機器操作体験、車内アナウンス体験、  
車両見学・写真撮影、軽作業体験、イベント特別電車乗車



## 二子玉川駅 駅長体験

実施日：令和7年7月21日（月・祝）

寄附金額：109,000円

2組限定（小学1～6年生1名と保護者）

駅長制服貸与、駅務機器の仕組み説明・操作、  
駅長ネームプレートの作成、ホームでのマイク放送体験、  
ホーム合図模擬体験、非常停止ボタン対応模擬体験、  
転落報知機の説明、線路内拾得手順の説明、記念撮影

※募集は終了しています。

# ふるさと納税制度に関する特別区長会講演会の概要

## 土居 丈朗 氏（慶應義塾大学 経済学部教授）

### ▶ 現状と課題

特別区では、納税義務者の5%程度しかいない高所得層が全体の40%を超える寄附金控除を受けており、減収の多くは高所得者層の寄附によって生じている。

### ▶ 改善点

住民の共感から制度の行き過ぎた部分を改める流れに導いていく必要があり、減収が行政サービスに与える影響等について、住民に認識してもらうことが重要。

一定以上の所得層に対し、控除額の制限を定めるという問題提起ができるのではないか。

# ふるさと納税制度に関する特別区長会講演会の概要

## 沼尾 波子 氏（東洋大学 国際学部教授）

### ▶ 現状と課題

寄附金の 5 割程度が経費となり、返礼品等が地方税財源を浸食している。  
高所得者層がより多くの利得を享受でき、垂直的公平性を阻害している。

### ▶ 改善点

特例分の控除額に上限を設定し、高額所得者が多大な利得を得る仕組み  
を変える。  
寄附金控除の対象となる寄附金額から、返礼品相当額を除外する。

# ふるさと納税制度に関する特別区長会講演会の概要

## 池上 岳彦 氏（立教大学 経済学部教授）

### ▶ 現状と課題

寄附受入額について地方自治体間格差が生じている（上位 20 団体が 2 割）。地方交付税による減収補填は、本来行政サービスに充てるべき地方交付税の財源を圧迫し、実質的に将来世代へ負担を先送りすることとなり、非常に大きな問題である。

### ▶ 改善点

寄附金控除の対象額から返礼品に相当する金額を除く。  
本来の趣旨にそぐわない多くの問題が浮き彫りとなっていることについて、都民に問題を周知する取組を強化し理解を促進していく。  
制度について、問題意識を同じくする地方自治体等と連携し、国に対して制度の見直しを求めていく。

# ふるさと納税制度は廃止を含め抜本的な見直しが必要！

## ◆ 寄附額に上限をもうけることで流出額に歯止めをかける

高額所得者がより多くの利得を享受できる優遇がされていることから、年間の寄附額上限を決めることで制約をかける対策を急ぐべき。

## ◆ 減収補填により地方交付税の財源を圧迫している

令和6年度は約3,958億円が補填されており、地方交付税の財源を圧迫している。他方、不交付団体は減収分の補填が行われず純減となっている。

## ◆ ワンストップ特例制度は国の所得税の減収分を地方自治体が負担している

「ワンストップ特例制度」は手続きの簡素化という名目で所得税控除分を一方的に自治体に肩代わりさせている不合理な制度となっている。

# 戦後80年 平和都市宣言40年 せたがや未来の平和館10周年記念事業

“平和を発信する施設”

せたがや未来の平和館から、戦争の悲惨さや恒久平和の大切さを発信する記念事業を実施  
幅広い世代の区民の皆さんと平和について考えます。

## 記念誌発行

せたがや未来の平和館  
の足跡等を辿ります！



## イベント

記念シンポジウム開催  
演劇の上演  
スタンプラリー実施



## リニューアル

常設展リニューアル  
わかりやすい展示へ  
展示順序の工夫  
文字のルビ振り

PR



施設のサインを  
一新・更新  
多言語リーフレット  
デザインの改新



